

No. 1478

緑ゆたかに

東京・日比谷公園で「第15回苗木と花の配布会」が開られました。

中曽根首相を始めアメリカ・中国などの駐日大使も出席して緑化運動に一役。参加者には苗木1万本や花の種子が配布されました。一方、緑や森林に触れて自然の知識を深めようと「グリーン・セミナー」が東大・小石川植物園で開講されました。第1回のテーマは「山の幸」。筒井東大教授の講義に150人の受講生が熱心に聴講します。12月まで8回の講座が行なわれ、緑とのふれあいが生活の中に深まることが期待されます。

フラッシュ

シンボリドルフ ◆一冠

第44回さつき賞が4月15日中山競馬場で行なわれ一番人気のシンボリドルフが2分1秒1のさつき賞レコードで快勝。三冠馬への第一歩を踏み出しました。

100年ぶり「石橋」

— 春の高山祭 —

里を囲む山々の雪がとけはじめる頃、飛騨の小京都とも呼ばれ、長い歴史の香りに包まれた岐阜県高山市に賑わいが戻ってくる。300年の歴史を誇る古い民家が軒を連ねる飛騨路を、各町内の屋台蔵から1年ぶりに日の光の中に曳き出された屋台が通る。動く陽明門といわれるこの屋台は荘厳で華麗、飛騨の匠たちによって造られた屋台は、伝統的な技術を今日に伝えるものとして貴重な遺産でもある。遠隔操作によって演じられるカラクリ人形、今年呼び物は、何といても100年ぶりに復活したカラクリ屋台「石橋」。あでやかな遊女が恋に身をこがし獅子に変身するという一幕を一体の人形で見せるもので、明治10年代「風紀上好ましくない」と中止されていたもの。この祭りが終ると、飛騨高山にもおそい春が訪れる。